

沿革 天王南中学校のあゆみ

(1) 開校までのあゆみ

本中学区は、北に「八郎湖」、西に「日本海」を望む、秋田市北部に隣接する典型的な都市近郊型のベッドタウンである。本県内では数少ない人口増加地域となっており、現在も農地や森林の宅地化が進んでいる。昭和40年代から人口が増加し、平成13年4月からは、県内の町村では、最も人口の多い町となっていた。（平成17年3月の合併前の旧天王町の時）

本校の校地周辺には、松林（かつて砂丘地帯であった本地区において砂防林、防風林として江戸時代から植林されてきたもの）が多く残っている。また、本校の裏手には「長沼」を中心とした運動公園が広がるなど、校地は自然環境に恵まれている。

本校は、昭和41年から続いていた秋田北中学校への追分小学区の生徒委託の解消と、本地域の優れた伝統文化を受け継ぐ地域に愛される学校の設立を求める地域の願いを実現するため、平成元年度に用地の取得が行われ、翌2・3年度には校舎棟と屋内運動場の建設を進められ、平成4年（1992年）4月4日に開校された。

【開校までのあゆみ】

開校前

- ・追分地区生徒は秋田市立秋田北中学校へ委託通学
- ・出戸地区生徒は天王町立天王中学校へ通学

平成元年9月	仮称天王第二中学校(仮称)建設検討委員会発足
平成2年2月10日	校名「天王町立天王南中学校」と決定(公募 小坂貞子氏等14名)
平成3年8月	校章決定(公募 野崎文隆氏)
平成3年10月	校歌の歌詞決定(作詞 佐藤庸子氏)
平成4年1月	校歌「ただこの時に」作曲完成(作曲 岡本 仁氏)
平成4年2月23日	校舎一般公開
平成4年3月25日	校舎竣工式
平成4年4月4日	開校式、校旗受納、入学式挙(生徒数 389名)

【校名の由来】

「南」は方位を表すことはもちろんであるが、さらに「南」という文字からは「明るさ」「温かさ」が感じられる。また、勉強に励む中学生にとっては「希望」「友愛」「躍進」等のニュアンスもぴったりである。言葉の意味、語の響き、イメージ等、三拍子そろったよい名称であり、もっともふさわしい。よって、「天王南中学校」と命名する。

命名者 小坂貞子 村田文雄 小仲弘志 米谷勝治 中川富雄 靱山玲子 小坂芳美
岩谷修子 佐藤智雄 藤田修三 小野恭子 沼田イキ 伊藤きよ子 佐藤信夫

【校章の説明】



円(まる)は、全ての生命の根源をなし、豊かな人間性を育む太陽のイメージ。

三角形は、未来への可能性と発展を求め、教育の理想である真・善・美を象徴。

天に松を配し、下に二本のウェーブは、潮風と海・波に恵まれた地域性をデザイン。

製作者 野崎 文隆 氏
(製作当時北野在住)

(2) 生徒数の推移

創 立		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
年 度	西 暦	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
	和 暦	平 4	平 5	平 6	平 7	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13
生徒数		389	406	405	384	349	361	339	344	315	329

創 立		11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
年 度	西 暦	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
	和 暦	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
生徒数		335	343	353	364	382	388	368	388	362	364

創 立		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
年 度	西 暦	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	和 暦	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	平31(令和)	令 2	令 3
生徒数		342	345	337	327	331	334	322	299	263	283

創 立		31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年
年 度	西 暦	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	和 暦	令 4	令 5	令 6	令 7	令 8	令 9	令10	令11	令12	令13
生徒数		276	293								

※令和5年度の生徒数は5/8現在

(3) 開校後のあゆみ

開校以来、「自立」を校訓とし、社会を自立的に生きる生徒の育成に取り組んできている。時代に先駆けてICT環境やユニバーサルデザインに基づく施設設備も整えられてきている。

生徒の活躍としては、地域の道場等との連携により、剣道や柔道において目覚ましい成果を挙げた。また、陸上競技も盛んであり、東北大会や全国大会などでも活躍してきている。平成25年以降、野球部の活躍も目覚ましく、令和3年度には、夏の全県少年野球大会への出場に続き、秋の全県秋季野球大会で準優勝しており、令和4年度にも、東日本少年軟式野球大会で第3位、全県秋季野球大会で準優勝し、創立30周年記念に花を添える活躍をした。

特色ある教育活動としては、平成17年に「環境美化教育優良校、リサイクル部門最優秀校」として環境大臣賞を受賞するなど、環境教育に取り組んできており、その実践は多くの書籍で先進的な事例として紹介されてきた。開校以来、アルミ缶のリサイクルで得た収益で福祉施設に車椅子などを寄贈するなど、福祉教育にも力を入れてきた。平成21年度からは、あきた教育GP「特色ある教育活動推進事業」として、「うたえおどれ 輝きのうた」のテーマのもと、表現活動にも重点的に取り組んできた。平成22年度には発表会を開催し、「天南ソーラン」と合唱を地域公開した。平成23年度以降、地域の祭典へ参加したり近隣の特別支援学校等で発表したりするなど、本校の「Good Practice」として継承されてきている。また、平成24年度の「いのちの教育あったかエリア事業」の指定を契機に、道徳教育の研究に取り組んだ成果を「天南道徳」としてまとめ、道徳科を要とする道徳教育について先進的な実践を重ねてきた。さらに、平成29・30年度の「魅力ある学校づくり調査研究事業」の中心校となったことを契機に、聴き方指導の合い言葉であった「顔はひまわり 心は思いやり」を生活全般における合い言葉に進化させるなどして、「積極的な生徒指導」にも取り組んでいる。

今年度は、創立40周年に向けてスタートする年度として、校訓と学校教育目標を新たにしていって、開校以来育んできた校風や特色ある教育活動を継承するとともに、進化させていきたい。

① 教育環境の整備のあゆみ

平成4年4月28日	P T A ・部活動後援会結成
平成5年3月22日	柔道・剣道場竣工式・祝賀会
平成5年7月7日	開校記念日を2月10日と制定
平成6年2月14日	記念像「明日に向かって」除幕式（ふるさと天王会・町寄贈）
平成7年2月25日	元・現教職員による「南中会」結成
平成7年9月1日	G L O B E 計画により本校の位置測定 測定結果＝北緯39度49分35秒、東経140度02分870秒
平成7年11月27日	生徒用コンピュータ、インターネット接続開始
平成9年1月10日	国土地理院、全地球測位システム（G P S ）電子基準点を校庭に設置
平成9年2月5日	「天王南中賛歌」完成
平成10年7月26日	学校開放講座 開講式（全講座で7回実施 10月31日閉講式）
平成12年4月27日	P T A 組織を一部改革
平成12年10月30日	生徒用コンピュータ更新40台設置、校内L A N 完成
平成14年4月24日	生徒用コンピュータをフレッツA D S L に接続（ブロードバンド化）
平成14年10月13日	創立10周年記念式典を挙行
平成15年2月11日	生徒用コンピュータ、フレッツA D S L ・モア（12MB）に接続
平成17年3月15日	潟上市ネットワーク開通式
平成17年3月	コンピュータ教室内コンピュータ更新42台、校内L A N （無線）増設
平成17年3月22日	天王町・昭和町・飯田川町の3町合併に伴い、 潟上市立天王南中学校と改称
平成18年3月31日	作法室2分割改装工事完了（特別支援学級を2教室増設） 生徒玄関前 車いす用スロープ工事完了 教室棟1・2階男子トイレ出入口及び内部改装工事完了 管理棟階段へ階段昇降機取り付け工事完了
平成22年10月	技術室屋根補修工事完了
平成22年11月21日	天南G P 発表会
平成24年10月26日	創立20周年記念式典を挙行
平成29年6月26日	校舎大規模改修工事（耐震化等）開始
平成30年2月26日	校舎大規模改修工事完了
令和元年8月29日	普通教室に冷房設備を設置
令和3年3月	学校I C T 環境整備
令和4年10月8日	創立30周年記念式典を挙行

② 生徒会・部活動等の活躍のあゆみ

※各競技（団体）とも県中総体優勝、東北大会3位、全国大会5位以上

平成6年7月17日	県中学総体 1年女子100M 優勝
平成7年7月14日	県中学総体 女子砲丸投げ 優勝
平成8年4月	生徒の手による「生徒手帳」「私たちの誓い」完成
平成8年5月1日	青少年赤十字（J R C）に加盟（以後毎年継続）
平成8年7月15日	県中学総体 女子200M 優勝
8月3日	東北中学陸上競技大会 女子200M 準優勝
8月17日	全国中学陸上競技大会 女子200M 県新記録25秒91
平成9年6月22日	全国中学レスリング大会 48kg級 優勝
7月22日	県中学総体 柔道男子個人78kg超級 優勝
8月10日	県吹奏楽コンクール Cクラス 金賞
10月13日	斎藤憲三顕彰会「斎藤憲三賞」受賞 科学部

平成10年 3月1日	第5回水環境保全活動奨励賞「水すまし賞」受賞 科学部
7月17日	県中学総体 柔道男子個人55kg級優勝
8月7日	東北中学柔道大会 男子団体優勝、男子78kg級優勝、55kg級第3位
8月22日	全国中学柔道大会 ベスト8
平成11年 3月16日	生徒会 アルミ缶回収の収益金で「松恵苑」へ車いすを寄贈
8月9日	東北中学柔道大会 男子団体準優勝、個人78kg級準優勝
9月17日	「北東北子ども環境サミット'99 in 青森」に生徒5名を派遣
9月27日	ふるさと子どもドリーム事業で多目的ホール前に61本の植樹他
平成12年 5月13日	「小・中環境サミット in 沖縄」に県代表で参加
6月22日	ふるさと子どもドリームアップ事業で前庭にモミの木を植樹
6月24日	郡中学総体 男子バレー部 団体5連覇
8月10日	東北中学柔道大会 男子個人66kg級優勝、60kg級準優勝
8月22日	全国中学柔道大会 男子個人66kg級第3位
11月24日	県中学新人柔道大会男子個人55kg級優勝
平成14年 1月26日	「グローブ日本生徒の集い」に生徒2名派遣、実践発表
7月13日	県中学総体 柔道男子個人55kg級優勝
8月8日	東北中学柔道大会 男子個人55kg級第3位
10月12日	生徒会 アルミ缶回収の収益金で車いす3台を町社会福祉協議会へ寄
平成15年 1月13日	生徒会 アルミ缶回収の収益金で全学級に加湿器設置
7月14日	県中学総体 柔道男子個人55kg級優勝、女子個人44kg級優勝
平成16年 7月12日	県中学総体 柔道男子個人60kg級優勝、女子個人44kg級優勝
7月25日	全国中学校フェンシング大会第3位
8月6日	東北中学校柔道大会 男子個人60kg級第3位、女子個人44kg級優勝
平成16年11月7日	ケーニヒ国際フェンシング大会第8位
11月18日	県よい歯の学校表彰 最優秀校
平成17年 1月	第51回明治神宮全国少年新春書道展 条幅の部特選
8月7日	東北中学校柔道大会 女子個人44kg級準優勝
11月17日	第38回県「社会を明るくする運動作文コンテスト」最優秀賞
平成18年 5月4日	北日本少年少女レスリング選手権大会中学生の部
	男子59kg級優勝、男子73kg級第3位
6月11日	全国中学校レスリング選手権大会 男子個人59kg級第3位
7月9日	県中学総体 バドミントン女子シングルス優勝
7月22日	全日本ジュニアバドミントン選手権大会県予選 シングルス優勝
平成19年 7月15日	県中総体 バドミントン女子シングルス優勝
平成20年 7月20日	県中総体 剣道男子個人優勝
平成21年 7月18日	県中総体 バドミントン女子シングルス優勝
8月9日	東北中総体柔道 男子個人55kg級優勝
平成22年 7月19日	県中総体 柔道男子団体優勝
	同男子55kg級優勝、男子60kg級優勝、男子66kg級優勝
平成23年 7月18日	県中総体 柔道男子個人 55kg級優勝、60kg級優勝
	同 柔道女子個人 48kg級優勝、63kg級優勝
平成24年 7月16日	県中総体 柔道女子団体優勝
	同 柔道女子個人 48kg級優勝、63kg級優勝
	同 陸上女子共通100m障害 優勝
8月9日	東北中学校柔道大会 女子個人 48kg級優勝、63kg級優勝
8月23日	全国中学校柔道大会 女子個人 63kg級第3位
平成25年 4月14日	全日本カデ柔道体重別選手権大会 女子個人63kg級準優勝
5月5日	ドイツカデ国際大会 女子個人63kg級準優勝
7月6日	第30回全日本少年軟式野球 東北Bブロック大会 優勝
7月15日	県中総体柔道女子 団体優勝
	同 柔道女子個人 52kg級優勝、63kg級優勝
8月9日	東北中学校柔道大会 女子個人 52kg級準優勝
8月15日	第30回全日本少年軟式野球大会 第5位

8月21日	全国中学校柔道大会 女子個人 63kg級準優勝、52kg級第3位
3月16日	東北中学校春季柔道錬成会 女子団体準優勝
平成26年7月12日	県中総体 柔道女子 団体準優勝 女子個人57kg級優勝
7月13日	県中総体 陸上競技男子 総合準優勝 共通男子400M優勝
7月20日	第60回全日本中学校通信陸上競技大会秋田大会 共通男子400M優勝、共通400MR優勝（大会新記録）
8月5日	東北中学校剣道女子 個人第3位
8月6日	東北中学校柔道女子 団体第3位 個人 57kg級第3位
平成27年7月18日	県中総体 柔道女子 団体優勝 同女子個人 57kg級優勝、63kg級優勝、70kg級優勝、57kg級準優勝
8月3日	東北中学校柔道女子 団体優勝 同女子個人 63kg級第2位、70kg級第2位 57kg級第3位
平成28年7月18日	県中総体 柔道女子 団体優勝 同女子個人 63kg級優勝 70kg級第2位 52kg級第3位 県中総体 陸上競技女子共通走高跳 優勝、第2位 1年100m 第3位
8月8日	東北中学校柔道女子 女子個人63kg級優勝
平成29年7月17日	県中総体 陸上競技女子女子共通走高跳 優勝
8月5日	東北中学校柔道女子個人 70kg超級第5位
8月9日	同 陸上競技女子 女子共通走高跳 第7位
平成30年8月7日	東北中学校柔道女子 団体第3位 57kg級第5位、70kg超級第5位
令和3年11月7日	秋田県秋季中学校野球大会 準優勝
令和4年8月15日	東日本少年軟式野球大会 第3位
令和4年11月6日	秋田県秋季中学校野球大会 準優勝

③ 教育研究等のあゆみ

平成5、6年度	秋田県社会福祉協議会委嘱 福祉教育推進校
平成7、8年度	文部省「環境のための地球学習観測（GLOBE）プログラム」 のモデル校に指定
平成7年10月13日	南秋田郡第3地区中学校学習指導公開研究会開催
平成9、10年度	文部省「環境データ観測・活用事業」モデル校
平成10年3月1日	第5回水環境保全活動奨励賞「水すまし賞」受賞
4月11日	「中学校総合的な学習ガイドブック」（教育出版）、本校の実践を掲載
平成10、11年度	文部省「中高一貫教育実践研究推進校」に秋田西高と共に指定
平成10年10月17日	文部省委嘱「スクールカウンセラー」活用調査研究委託事業によりSC3名配置
平成11年10月26日	平成11年度研究論文共同研究の部「特選」受賞
平成12年1月26日	日本教育公務員弘済会より「日教弘教育賞」受賞
4月25日	「みんなの環境学習実践集 上級編」（岩崎書店）、本校の実践を掲載
5月1日	県教委「心の教室相談員」活用調査研究委託事業で相談員1名配置
平成13年3月1日	第9回全国小・中学校環境教育賞「優秀賞」受賞
7月25日	「環境教育ガイド2001-2002」（小学館）、本校の環境教育の実践を掲載
平成13、14年度	文部科学省指定「環境のための地球学習観測プログラム」モデル校
平成13年10月26日	環境保全優良団体として秋田中央保健所長表彰を受賞
10月31日	財団法人 斎藤憲三顕彰会より財団創立30周年記念表彰を受賞
平成14～16年度	財団法人 省エネルギーセンター委嘱「省エネ教育」推進モデル校
平成14年9月1日	『新教育課程先進事例集No3「総合的な学習・選択教科事例集」』 （教育開発研究所）、本校の環境教育の実践を掲載
平成15、16年度	文部科学省指定「学力向上フロンティアスクール」
平成15、16年度	文部科学省指定「環境のための地球学習観測プログラム」モデル校
平成17年度～	秋田県・潟上市 教育事業連携開始
平成17年11月30日	環境美化教育優良校表彰 リサイクル部門最優秀校（環境大臣賞）
平成18年度～	天王南中学校区 小・中学校連携開始
平成19年1月～	基礎学力の向上に向けた取組開始

平成19年4月～	キャリア教育実践プロジェクト（キャリア・スタート・ウィーク）
平成21年度	チェンジあきた・教育プロジェクト事業開始
平成24年度	秋田県教育委員会「いのちの教育あったかエリア事業」指定校
平成25年2月19日	日本教育公務員弘済会より「奨励賞」受賞
平成27年度	秋田県教育委員会「拠点校協力校英語授業改善プログラム」指定校
平成29・30年度	文部科学省指定「魅力ある学校づくり調査研究事業」市中心校
平成29年10月11日	教職員支援機構主催「言語活動指導者養成研修」授業等公開校

(4) 歴代校長

初代（平成4年4月～平成9年3月）	5年間	谷内和夫
2代（平成9年4月～平成13年3月）	4年間	武石正夫
3代（平成13年4月～平成15年3月）	2年間	佐藤一義
4代（平成15年4月～平成16年3月）	1年間	一ノ関敏昭
5代（平成16年4月～平成18年3月）	2年間	大石成子
6代（平成18年4月～平成21年3月）	3年間	一関雅裕
7代（平成21年4月～平成22年3月）	1年間	濱田純
8代（平成22年4月～平成26年3月）	4年間	加賀谷かをる
9代（平成26年4月～平成29年3月）	3年間	小松忠
10代（平成29年4月～令和2年3月）	3年間	稲荷一清
11代（令和2年4月～令和4年3月）	2年間	高桑博幸
12代（令和4年4月～）		櫻庭豊

【継承したい歴代校長の思い】（「創立20周年記念誌」より一部抜粋）

開校式を迎えるまでの準備期間が第一の山場であり、その後は毎日が戦場のようなものでした。（中略）先生たちも、どうしたら生徒たちが一日も早く仲良くなり、新しい学校に馴染んでくれるか知恵を絞りました。力点を置いたこと事柄として、①生徒会活動や部活動を活発にすること、②できるだけ生徒の希望を取り入れた活動を多くすること、③職員は魅力ある授業をすること、さらに、④積極的に地域に学習の場を設け、地域の人達と交流しようと努めました。（谷内和夫 初代校長）

あの頃は、まず頑張る、前向きに挑戦する、よその学校に勉強も部活動も負けない、そんな気持ちが教師も、生徒もあったと思います。私も「この中学校に入学してよかった、卒業してよかった」そんな学校像を描いて地域や保護者のみなさんと汗を流したことを式典の中で懐かしく思い出していました。（武石正夫 第二代校長）

「私（たち）は、あなた（たち）よりもよい練習を続けています。だから、あなた（たち）には絶対に負けません。」この「不敗宣言」を心の底から本気で唱えられる競技者は極めて少ないと思う。なぜかという、普段の練習のはじめから終わりまで、常に全霊を投入して自分を鍛錬することは至難だからである。高い目標を自分に課して、緊張感と集中力を込めて練習に没頭した自覚があつてこそ、本気で相手に「不敗宣言」を唱えることができる。（佐藤一義 第三代校長）

平成17年度は校門のネームプレートが潟上市立と新しくなりスタートしました。それまでと違い、潟上市三中学校と、生徒間、PTA間、教師間などで広く交流が生まれ視野が広がりました。（大石成子 第五代校長）

「教室だけが学びの場ではない。学校から飛び出して地域にも学びの場を求めよう」という考え方を、私自身学ばせていただきました。ある受け入れ事業所の社長さんの言葉が忘れられません。「私も夢を抱いて東京に出ました。父が亡くなり事業を引き継ぐためにその夢を捨てて帰郷しました。今は健康で精一杯働けることに感謝しています。」働く大人の方々のそれぞれの思いを直接にお聞きすることも、大きな学びとなる経験でした。

（一関雅裕 第六代校長）